

製品名: TRAF2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19184**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス、ウシ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF2
別名	TRAF2; TRAP3; TNF receptor-associated factor 2; E3 ubiquitin-protein ligase TRAF2; Tumor necrosis factor type 2 receptor-associated protein 3
遺伝子 ID	7186.0
SwissProt ID	Q12933
免疫原	ヒト TRAF2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

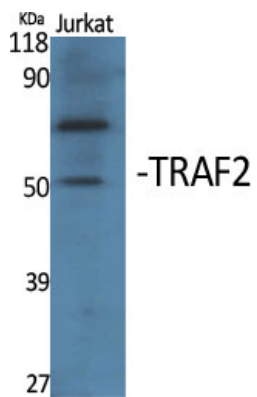
TNF 受容体関連因子 2 (TRAF2) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) タン

パク質ファミリーのメンバーです。TRAF タンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーと関連し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は TNF 受容体と直接相互作用し、TRAF1 とヘテロ二量体複合体を形成します。このタンパク質は、TNF- α による MAPK8/JNK および NF- κ B の活性化に必要です。このタンパク質と TRAF1 によって形成されるタンパク質複合体は、アポトーシス抑制タンパク質 (IAP) と相互作用し、TNF 受容体からの抗アポトーシスシグナルの媒介として機能します。このタンパク質と TNF 受容体関連アポトーシスシグナル伝達物質である TRADD との相互作用により、IAP がリクルートされ、カスパーゼ活性化が直接阻害されます。ユビキチンリガーゼ活性を持つアポトーシス抑制因子 BIRC2/c-IAP1 は、このプロドメインのユビキチン化を脱し、分解を誘導することができます。ドメイン:コイルドコイルドメインは、ホモおよびヘテロオリゴマー化を媒介します。ドメイン:MATH/TRAF ドメインは、受容体細胞質ドメインに結合します。機能:受容体細胞質ドメインおよびキナーゼと結合して、腫瘍壊死因子受容体ファミリーのメンバーをさまざまなシグナル伝達経路にリンクするアダプタータンパク質およびシグナル伝達物質。受容体への結合は、TRADD との相互作用によっても媒介されます。NF- κ B および JNK の活性化を媒介し、アポトーシスに関与しています。TRAF1/TRAF2 複合体は、アポトーシス抑制因子 BIRC2 および BIRC3 を TNFRSF1B/TNFR2 にリクルートします。IL-15 シグナル伝達に関与していると思われます。PTM:ユビキチン化; SIAH2 によって媒介され、その後プロテアソームによる分解につながる。SIAH1 によってユビキチン化されない。類似性: MATH ドメインを1つ含む。類似性: RING 型ジンクフィンガーを1つ含む。類似性: TRAF 型ジンクフィンガーを2つ含む。サブユニット: ホモトリマー (おそらく)。TRAF1 とはヘテロマーである。TNFRSF1B/TNFR2、TNFRSF4、TNFRSF5/CD40 に結合し、CD27、TNFRSF8/CD30、TNFRSF9/CD137、TNFRSF11A/RANK、TNFRSF13B/TACI と 会 合 す る 。 TNFRSF14、TNFRSF16/NGFR、TNFRSF17/BCMA、TNFRSF18/AITR、TNFRSF19/TROY、TNFRSF19L/RELT、XEDAR、EDAR、エプスタイン・バーウイルス BNFL1/LMP-1、IL15RA、TANK/ITRAF、RIPK2、TNIK、MAP3K14、MAP3K5、MAP3K1、MAP4K2、CDK9、CSK、および TRAF 相互作用タンパク質 TRAIIP と TRAF および TNF 受容体関連タンパク質 TTRAP。TNFAIP3 および TRPC4AP と相互作用します。PEG3 と相互作用します (類似性による)。TRADD に結合します。BIRC2 および BIRC3 の N 末端と相互作用します。CYLD および TBK1 と相互作用します。MAVS/IPS1 と相互作用します。CASP8AP2 および USP48 と相互作用する。DAB2IP と相互作用する。NFATC2IP および HIVEP3 と相互作用する。

研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;RIG-I 様受容体;アディポサイトカイン;がんの経路;小細胞肺がん;

画像データ



TRAF2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。